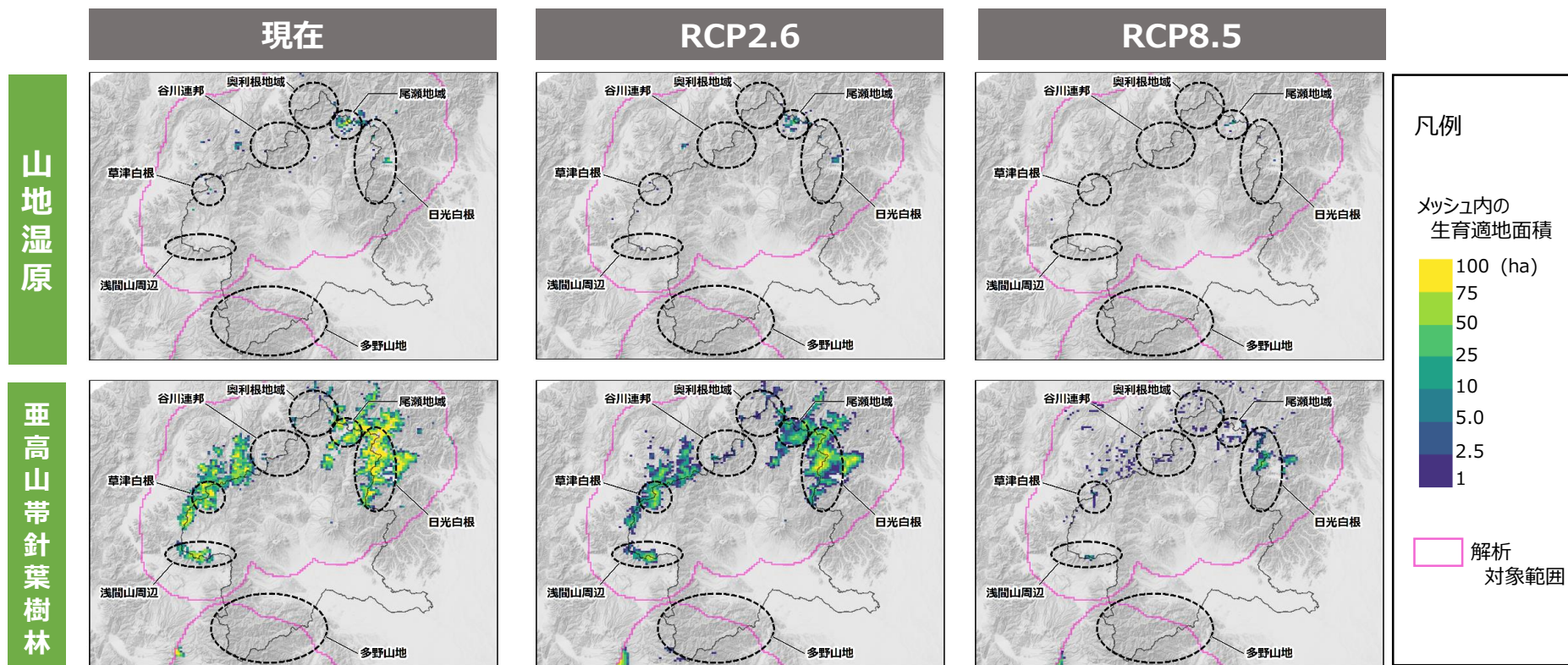


# 【成果概要】2-6 気候変動による高山・亜高山生態系への影響調査【群馬県】

## ■ 成果

- 予測対象とした植生の多くにおいて、気候変動の進行に伴う生育適域面積の減少が予測され、その減少の程度はRCP2.6よりもRCP8.5においてより顕著であった。
- 一方、RCP8.5シナリオ下においても一定程度の適域面積が残存する地域が確認されている。これらの地域は、レフュージア(逃避地)として保全上重要な地域であると考えられる。



※MRI-CGCM3による21世紀末の気候パラメータを使用  
※「現在」の植生分布は第6-7回自然環境保全基礎調査植生図(環境省)をもとにPCKKが作成  
※その他の出典は次の通り 行政区域:国土数値情報 行政区域データ 背景図:地理院タイル(傾斜量図)

## ■ 課題

- 実際の分布の変化をより正確に予測するためには、植物の移動分散速度等の要因も考慮する必要がある。
- 本調査の空間解像度は約1km×1km程であるため、微地形等を正確に再現できていない。したがって、今後はモデルの高解像度化が課題である。

# 2-6 気候変動による高山・亜高山生態系への影響調査【群馬県】

## ■ 適応オプションのまとめ

| 適応オプション        | 想定される実施主体 |     |    | 評価結果       |                                   |       |      |      |     |           |            |
|----------------|-----------|-----|----|------------|-----------------------------------|-------|------|------|-----|-----------|------------|
|                |           |     |    | 現状         |                                   | 実現可能性 |      |      |     | 効果        |            |
|                | 行政        | 事業者 | 個人 | 普及状況       | 課題                                | 人的側面  | 物的側面 | コスト面 | 情報面 | 効果発現までの時間 | 期待される効果の程度 |
| モニタリング調査       | ●         | ●   | ●  | 一部普及が進んでいる | ・継続的な実施体制<br>・モニタリング場所へのアクセス性     | △     | ○    | △    | ◎   | 長期        | 中          |
| 植物群落の維持・再生     | ●         |     | ●  | 一部普及が進んでいる | ・シカ食害等気候変動以外の要因による植生衰退<br>・体制、資金面 | △     | △    | N/A  | ◎   | 中期        | 高          |
| 植物群落の再導入・補強    | ●         |     |    | 普及が進んでいない  | ・移植等の技術の確立<br>・遺伝的攪乱の恐れ           | △     | △    | N/A  | △   | 中期        | 高          |
| 生育域外保全による植物の保全 | ●         |     |    | 普及が進んでいない  | ・域外保全を行う場所の検討<br>・栽培手法の確立         | △     | △    | N/A  | △   | 長期        | 低          |
| 植物群落の保全的導入     | ●         |     |    | 普及が進んでいない  | ・再導入技術<br>・遺伝的攪乱の恐れ               | △     | △    | N/A  | △   | 長期        | 中          |
| 人材育成           | ●         |     |    | 普及が進んでいない  | ・資金面<br>・既存の活動団体の高齢化              | △     | ◎    | N/A  | ◎   | 中~長期      | 高          |
| 資金調達と普及啓発      | ●         |     |    | 普及が進んでいない  | ・普及啓発を行う人材の不足<br>・多様なステークホルダーとの連携 | △     | ○    | N/A  | ◎   | 短~中期      | 高          |